

【令和4年第5回相馬方部衛生組合議会定例会管理者挨拶】

■各施設の放射能測定値の状況について

○光陽クリーンセンターで発生する排出灰について

11月21日測定の結果、主灰が63ベクレル、飛灰が、
724ベクレルでした。

○有害鳥獣焼却場で発生する排出灰について

12月15日測定の結果、主灰が630ベクレル、飛灰が
14,340ベクレルでした。

○衛生センターで生産している肥料について

12月12日測定の結果、100ベクレルであり、国が肥料の
流通可能な基準としている400ベクレルを連続して下回って
います。

■各施設の運転及び管理状況について

○有害鳥獣焼却場について

本年4月からの処理状況については、12月19日現在で、
97頭のイノシシの搬入があり、随時、焼却処分しています。

○光陽クリーンセンター、衛生センター、一里壇斎苑及び松川浦環境公園について

定期的な保守点検作業と計画的な整備を実施するなど、各施設とも正常運転に心がけ、順調に推移しています。

■病院事業について

○受診状況について

本年11月末日までの受診状況については、入院患者は、延べ27,883人で、前年と比較して2,607人、率で10.3%増加しています。

外来患者は、延べ66,775人で、前年と比較して277人、率で0.4%増加しています。

○令和5年度初期臨床研修医師の募集状況について

平成24年に基幹型臨床研修病院の指定を受け、これまで16名の初期臨床研修医師を受入れてまいりました。来年度の研修医の受入れにつきましては、募集定員3名の受入れに向けて、福島県や各大学などが主催する病院説明会に積極的に参加し、様々な募集活動に取り組んでまいりました。その結果、去る

10月27日に公表された「医師臨床研修マッチング協議会」の最終組み合わせで、3名の研修医受入れが決定いたしました。初期臨床研修期間の2年間ではありますが、当院の常勤医師として、職務を担っていただくことに期待するものです。

○コロナ陽性患者の入院受入れ状況について

当院は、県の重点医療機関の指定を受け、コロナ陽性患者、あるいは疑い患者を受け入れております。12月19日現在、これまで県から要請を受けた患者は延べ290人であり、令和2年12月以降のコロナ陽性患者受入病床の使用率は、平均で約34%です。